

## よこはま動物園ズーラシア マレーバクの「ひでお」の死亡について



「ひでお」

台湾の台北市立動物園へ出園したマレーバクの「ひでお」が、台北市立動物園への移動中に死亡しましたので、お知らせします。

### ○マレーバク「ひでお」

- (1) 性別 オス
- (2) 出生日 令和4年1月12日(2歳)
- (3) 死亡確認日 令和6年6月22日(土)
- (4) 経過 よこはま動物園で誕生した「ひでお」は、(公社)日本動物園水族館協会のマレーバク管理計画に基づき、令和5年12月20日に名古屋市東山動植物園に所有権を移転したうえで、台北市立動物園への移送に向けて、東山動物園と連携しながら準備を進めてきました。  
よこはま動物園では、園内の動物病院にて検疫をおこない、安全に移送するため輸送箱に入る練習をするなど、順調に準備を進め、検疫終了後の6月21日11時に、元気に出発しましたが、6月22日1時過ぎに、台北市立動物園にて死亡が確認されました。
- (5) 死因について 台北市立動物園等関係機関と協力して死亡した原因等を調査中です。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 TEL045-959-1298

■ ひでおのプロフィール

ひでおは、令和4年1月12日によこはま動物園で誕生しました。当園では17年ぶりのマレーバク誕生で、母親ロコの愛情を一身に受けてすくすくと成長しました。少し臆病なところがありますが、ブラッシングが好きな、穏やかな性格でした。

■ マレーバクについて

和名	マレーバク
英名	Malayan Tapir
学名	<i>Tapirus indicus</i>
分類	奇蹄目 バク科
分布	ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
生態	現存するバク4種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことで知られている。他のバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴。熱帯雨林の森の中で単独で生活し、木の葉や草などを餌とする。水辺を好み、泳ぎも巧み。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種 (EN)：近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	2頭 (オス1頭、メス1頭) ※死亡した個体は含まず
国内飼育園館	13園34頭 (オス19頭、メス15頭、) 令和6年3月末現在

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は16:00まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) 12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約18分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000